

# 参加車両規定・概略

ALPINE CLASSIC CAR RALLY 競技委員会



## 【競技会に参加できる車両】

### ▷参加可能な車両:

#### [ ACCR本戦クラス ]

1993年までに生産された車両およびその同型車(マイナーチェンジを含む、エンジンも同型車)で車検を取得し、一般行動を走行できる車両に限る。

また、一般公道を走行するためには、車両の最低地上高である9cmをクリアしていなければならない。

### ▷車体カラーリングについて:

車両製作に当たっては、クラシックカーのラリーイベントであることを踏まえ雰囲気を考慮して仕上げる。

奇抜なボディーカラー(蛍光色など)は禁止。

ただし、当時使用されていたカラーリングであることが認められた場合には許可する。

## 【参加クラス】

### ・Vintageクラス 1965年までに生産された車両

VintagePクラス/1300cc以下/1800cc以下/2500cc以下/2501cc以上

VintageSクラス/1300cc以下/1800cc以下/2500cc以下/2501cc以上

### ・Classic1クラス 1975年までに生産された車両

Classic1Pクラス/1300cc以下/1800cc以下/2500cc以下/2501cc以上

Classic1Sクラス/1300cc以下/1800cc以下/2500cc以下/2501cc以上

### ・Classic2クラス 1993年までに生産された車両

Classic2Pクラス/1300cc以下/1800cc以下/2500cc以下/2501cc以上

Classic2Sクラス/1300cc以下/1800cc以下/2500cc以下/2501cc以上

### ・Superクラス 1993年までに生産された車両の内、年式に拘わらずエンジン載せ替え等、大幅な改造をしている車両

Superクラス/1300cc以下/1800cc以下/2500cc以下/2501cc以上

\*参加クラスは、車両の製造年度を基本とし、それぞれのオリジナリティを考慮した各クラスを設定する。

\*参加車両の少ないクラスが発生した場合は、クラスを統合する場合がある。

\*チューニングのレベルについては自己申告を原則とするが、チューニングの内容によっては再車検を実施する。

また、事実と異なる場合は賞典外とする。

\*ターボ装着車、スーパーチャージャー装着車は、排気量を1.5倍として計算する。

## 【安全規定】

### ▷ロールケージ/ロールバー:

クルーの保護を目的に参加車両は4点式以上のロールケージ/ロールバーを装着することを義務とする。

尚、オープンカーの場合は、少なくとも6点式以上のロールバーを備えた車両であることを義務とする。

ただし、Vintageクラスについては、強く推奨とする。

メインロールバーは、車体下部の堅固な構造材にしっかりと取り付けられ、ドライバーが運転席に着席した状態でヘルメットの先端よりも高くなければならず、かつその幅はドライバーの肩より広くなければならない。

なお、通常の運転姿勢におけるドライバーのヘルメットは、いかなる場合であってもロールバーと接触してはならない。

\*車両の構造上、規定通りに不可能な場合は事前に許可を得ることとする。

\*オリジナル車両がボディ内部にロールバーを内蔵するなど、ロールバーが装着されていなくても参加を認める場合がある。

▷けん引用穴あきブラケット:

すべての車両は、前後に車両をけん引しうる強度/取り付け部分をもつリング状、または鋼板に穴をあけたけん引用ブラケット(最少内径50mm)を備えること。  
ブラケットは、車両に装着した状態で50φ、50mmの丸棒が通ることとする。  
このけん引用穴あきブラケットは、黄色オレンジあるいは赤色に塗られ、明らかに確認できるようにする。  
ただし、Vintageクラスについてはベルトフックの利用でも可とする。  
\* その他、一般公道を走行するための改造申告をしていない車両は脱着可能なブラケットとする。

▷安全ベルト:

安全ベルトは、ターン式バックル、あるいはレバー式のワンタッチ式フルハーネスタイプなど、4点以上の安全ベルトを装着することを義務とする。

▷消火装置:

1つ、あるいは2つの容器で粉末2kg以上の内容を装備すること。  
消火器は製造年月日から3年以内のものとする。また、速やかに操作できる状態で車室内に搭載しなければならない。

▷非常用停止表示板(三角停止板) 非常用信号灯(発煙筒) 救急薬品セット

非常用停止表示板(三角停止板)を2枚、非常用信号灯(発煙筒)を1点、救急薬品セットを1点、搭載することを義務とする。

▷安全でない車両:

改造および付加物取り付けなどにより技術委員長が安全でない車両と判断した場合、その指示に従い改善しなければならない。

▷ヘルメット、レーシングスーツ、グローブを着用することを義務とする。

- \* ジェット型のヘルメットを使用する場合で、オープンタイプの競技車両では、ウィンドシールドの装着、またはゴーグルの着用を義務とする
- \* また、フェイスマスクの着用を強く推奨する。
- \* レーシングスーツは、防炎性素材生地を使用している一体式であることを強く推奨する。

\*参加車両規定、およびクラス分けなどについては、すべてALPINE CLASSIC CAR RALLY規定による。

\*計測、その他の事項に対するクレーム:

クレームは、いっさい認めない。すべて、主催事務局(ALPINE CLASSIC CAR RALLY 大会事務局)をはじめ競技関係者(競技委員会、団体および個人)に一任することとする。  
また、この件については、誓約書に署名しなければならない。

\*ナンバープレートについてのお願い:

大会事務局が制作、またメディアなどに提供する、あるいはアップロードした写真・映像・印刷物などで競技参加車両、また関係車両のナンバープレートが判読できた場合でも、基本的には削除できない。  
また、この件については、誓約書に署名しなければならない。